



近畿地方整備局 紀南河川国道事務所	配布日時	平成27年5月28日 14時00分
資料配布		

件名	近畿自動車道紀勢線（田辺～すさみ） 南紀田辺ICから白浜までが7月に先行開通！ ～夏の観光シーズンに大きな効果を期待～ ～あわせて路線名称、IC名称が決定～
----	--

概要	<p>○近畿自動車道紀勢線（田辺～すさみ）のうち、工事が順調に進捗している南紀田辺ICから白浜までの約14kmの区間については、夏の観光シーズンにあわせ、平成27年7月に先行開通する見通しとなりました。</p> <p>○また、あわせて路線名称及びインターチェンジ（IC）名称が、和歌山県及び関係市町からの意見を踏まえ決定しました。</p> <p>■路線名称：紀勢自動車道(紀勢道)</p> <p>■IC名称：上富田、南紀白浜、日置川、すさみ、すさみ南</p> <p><u>主な整備効果</u></p> <p>■「命の道」として、災害時の復旧支援や代替機能が期待されます。</p> <p>■観光レジャーの活性化により、地域経済の好循環が期待されます。</p>
----	--

取り扱い	—
------	---

配布場所	近畿建設記者クラブ 和歌山県政記者クラブ 和歌山県政放送記者クラブ	大手前記者クラブ 和歌山県地方新聞記者クラブ 田辺記者クラブ
------	---	--------------------------------------

問合せ先	国土交通省 近畿地方整備局 紀南河川国道事務所 副所長 <small>よしむら ひでじ</small> 吉村 英二、 調査第二課長 <small>おがわ ひろき</small> 小川 裕樹 TEL 0739-22-4564（代表）
------	---

■紀勢自動車道（田辺～すさみ）の事業状況

- 紀勢自動車道（田辺～すさみ）は、9月26日より開催される「紀の国わかやま国体」にあわせての開通を目指し事業を進めてまいりました。
- 工事が順調に進捗している「南紀田辺IC～南紀白浜IC間 延長：14km」については、平成27年7月に先行開通する見通しとなりました。
- この先行開通により、夏の観光シーズン等に毎年発生している田辺～白浜地域の交通混雑の緩和が期待できます。
- 残る「南紀白浜IC～すさみ南IC間 延長：24km」については、「紀の国わかやま国体」にあわせて、平成27年9月に開通する見通しです。

■紀勢自動車道（田辺～すさみ）の概要図



■紀勢自動車道（田辺～すさみ）のインターチェンジ名称について

- 紀勢自動車道（田辺～すさみ）のインターチェンジ名称は和歌山県及び関係市町からの意見を踏まえ、下記のとおり決定いたしました。

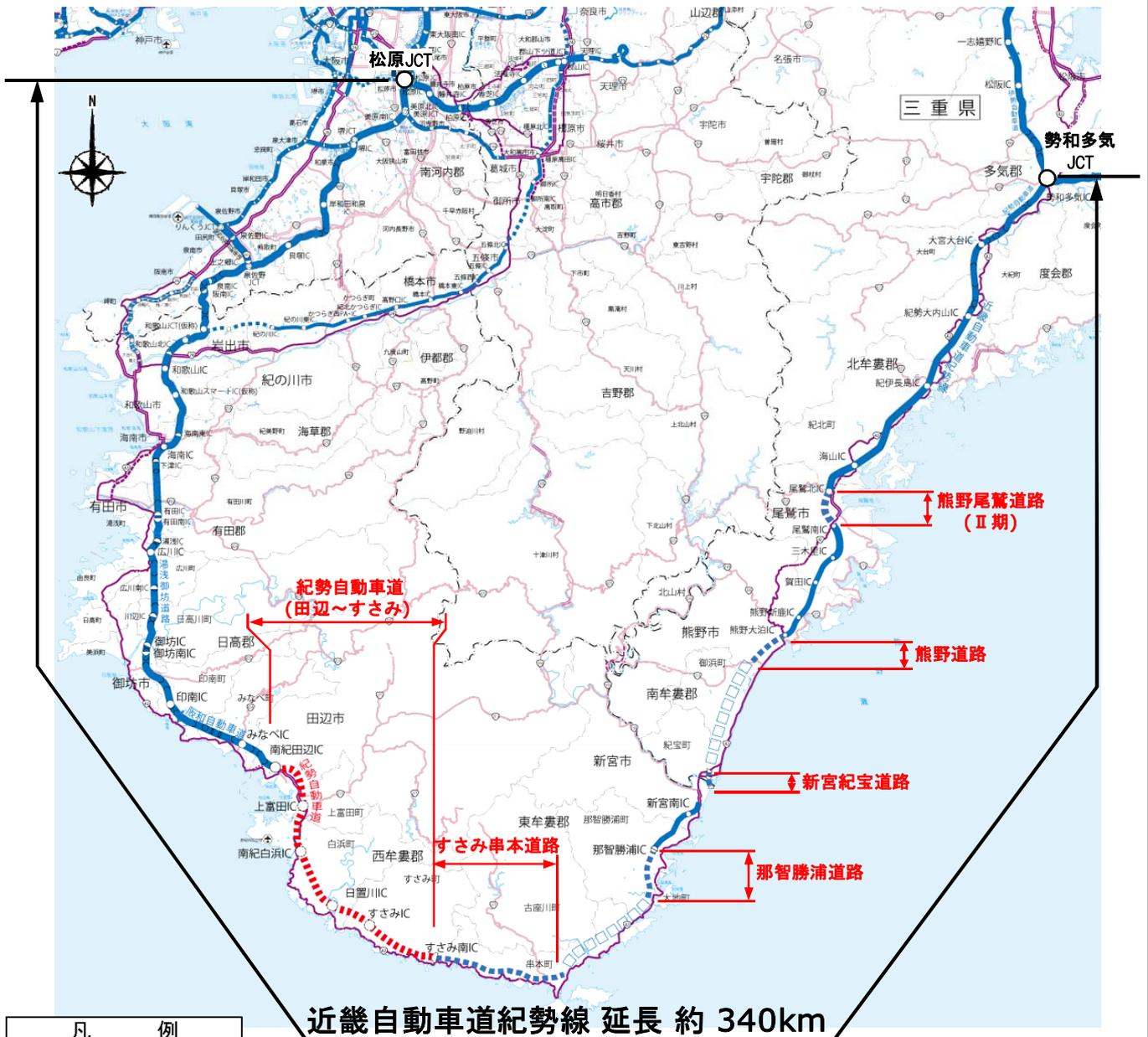
インターチェンジ名称	連結位置	接続道路
かみとんだ 上富田インターチェンジ	かみとんだちょうあつそ 上富田町朝来	一般国道42号
なんきしらはま 南紀白浜インターチェンジ	しらはまちょうつづらぶち 白浜町十九淵	一般国道42号 主要地方道 白浜温泉線
ひきがわ 日置川インターチェンジ	しらはまちょうおふる 白浜町大古	主要地方道 日置川大塔線
すさみインターチェンジ	すさみちょうすさみ すさみ町周参見	主要地方道 すさみ古座線
すさみなみなみ すさみ南インターチェンジ	すさみちょうえすみ すさみ町江住	主要地方道 上富田すさみ線

近畿自動車道紀勢線

■ 近畿自動車道紀勢線の概要

近畿自動車道紀勢線は、大阪府松原市を起点に、三重県多気郡多気町に至る延長約340kmの国土開発幹線自動車道です。

本道路は京阪神と紀伊半島の各都市を結び、輸送時間の短縮や国道42号の混雑緩和を図り、地域の産業、経済、文化、観光の振興と発展に寄与することを目的とする道路です。



凡 例	
—	開通済路線
---	事業中
---	調査中
---	国道

- ◇南海トラフ巨大地震が今後30年以内に発生する確率は70%程度
- ◇国道42号は南海トラフ巨大地震時に、半分の区間で津波による浸水が想定。
- ◇紀勢自動車道(田辺～すさみ)が整備されることにより、紀伊半島の「くしの歯の根本」となり、救急車等の緊急車両の迅速な救助・復旧活動を支援。

●南海トラフ地震の予想規模と発生確率



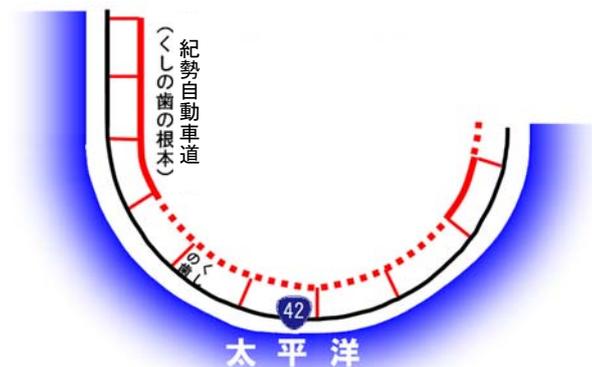
(資料：文部科学省 地震調査研究推進本部 発表資料 平成26年1月)

●津波による浸水予測図

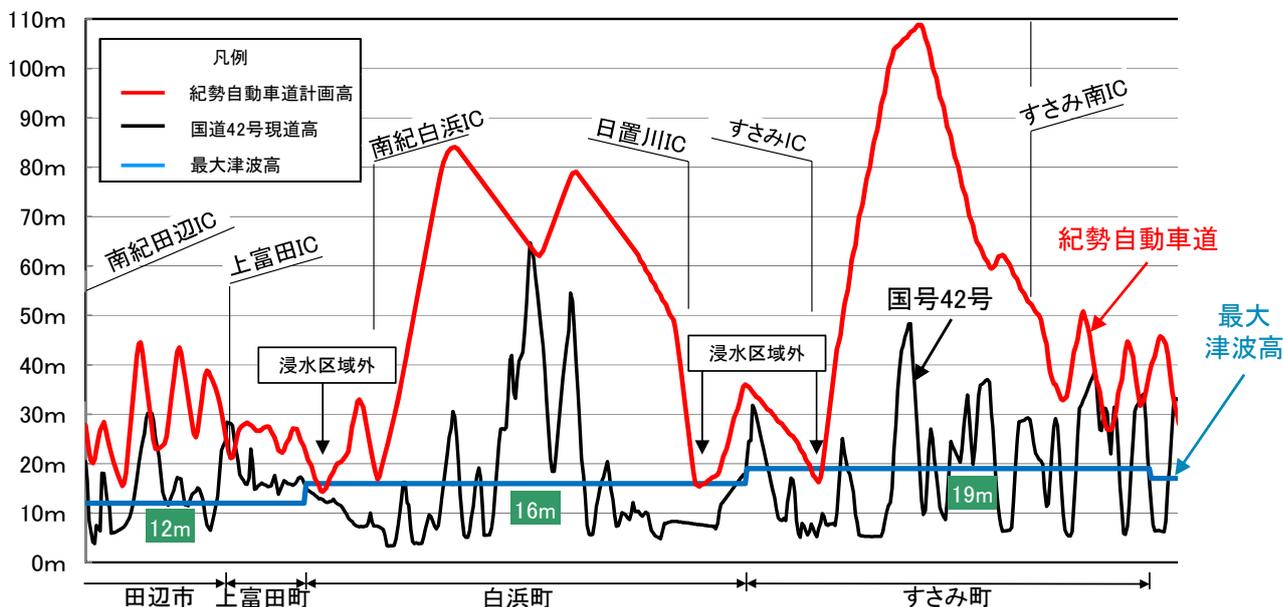


(資料：南海トラフの巨大地震による浸水想定 和歌山県 平成25年3月、紀南河川国道事務所調査 平成25年3月)

●くしの歯のイメージ



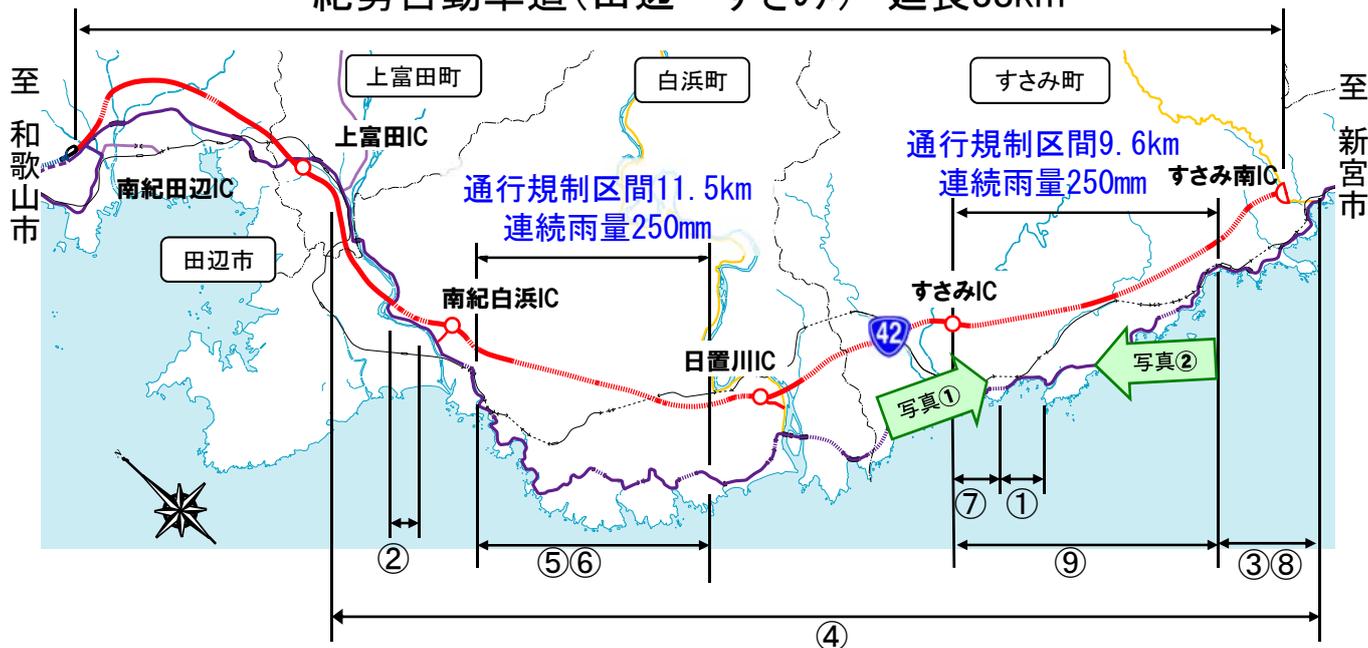
●津波に強い紀勢自動車道



(資料：南海トラフの巨大地震による浸水想定 和歌山県 平成25年3月、紀南河川国道事務所調査 平成26年8月)

- ◇紀伊半島南部の幹線道路は国道42号しかなく、被災により孤立地域の発生が懸念。
- ◇本路線の現道区間である国道42号(約50km)では越波、大雨及び土砂崩落による通行規制を過去10年間で49回実施。(うち全面通行止めは9回)
- ◇紀勢自動車道(田辺～すさみ)の整備により、代替ルートが確保され、災害時の信頼性が格段に向上。

紀勢自動車道(田辺～すさみ) 延長38km



●過去10年間の全面通行止回数

番号	実施日	規制区間	規制原因	規制時間
①	H16.10.20	すさみ町周参見	越波	1時間
②	H21.08.09	白浜町十九洲	倒木	3時間
③	H21.10.08	すさみ町江住	越波	3時間
④	H23.03.11	新宮市～上富田町	津波	23時間
⑤	H23.07.20	白浜町志原～白浜町富田	規制雨量	16時間
⑥	H23.09.03	白浜町志原～白浜町富田	規制雨量	54時間
⑦	H24.06.19	すさみ町口和深	越波	9時間
⑧	H24.09.30	すさみ町江住	越波	2時間
⑨	H25.09.16	すさみ町見老津～すさみ町周参見	規制雨量	5時間
合計				116時間

●越波状況(すさみ町口和深地区)



H16年10月撮影



H23年9月撮影

地域の観光レジャー活性化に寄与！

- ◇高速道路の延伸により移動時間が短縮し、大都市圏からのアクセス性が向上。
- ◇多くの観光資源を抱える紀南地方がより身近になることで、観光・レジャー施設などの地域活性化に寄与。
- ◇これまでの高速道路開通により紀南地方への観光客数や観光消費額が増加。
- ◇今回の開通により、さらなる観光レジャーの活性化・地域経済の好循環に期待。

①白良浜(白浜町)



②アドベンチャーワールド(白浜町)



③稲積岩(すさみ町)
～夕日ビュースポット～

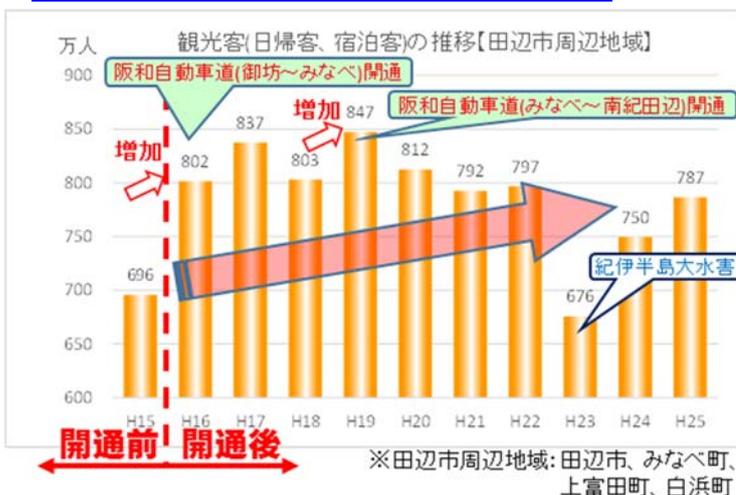


④熊野古道(紀伊山地)



H15.12 開通
H19.11 開通

●高速道路の開通と共に観光客が増加



●高速道路の開通と共に観光消費額が増加

年	阪和自動車道 開通済区間	アクセス時間※1 (大阪市～白浜町)	日帰り客1人当たり 観光消費額※2
H14	松原JCT～御坊IC	4 : 06	4,154円
	約2.7kmの延伸	往復約3時間の短縮	約1.8倍
H20	松原JCT～南紀田辺IC	2 : 33	7,646円
	約1.4kmの延伸	白良浜地域の混雑緩和 アクセス性向上	更に増加 が期待
H27	松原JCT～南紀白良IC		

※1) アクセス時間: 【事前】H17道路交通センサスより算出、【事後】H22道路交通センサスより算出
※2) 観光消費額: 和歌山県観光統計調査報告書(H21.3)

地域の交通混雑緩和に期待！

- ◇ゴールデンウィークや夏期の観光シーズンに、南紀田辺IC～白浜市街間に集中し田鶴交差点や主要地方道南紀白浜空港線では渋滞が発生。
- ◇紀勢自動車道 南紀田辺IC～南紀白浜IC間が早期開通することで、交通分散による渋滞の減少、混雑の緩和による観光地へのアクセス性向上に期待。

●交通の分散により混雑の緩和が期待



■白浜方面への渋滞
・約900mの渋滞が発生
(H26.5.5 12:40 最大890m)



■田辺方面への渋滞
・約2,400mの渋滞が発生
(H26.5.5 17:40 最大2,350m)

